

2009年度

科目名	ジェンダー論(総合講座)			コード	54530
担当教員	岡島 克樹、李 和子、日合 あかね				
配当	教育3			コード	54530
開期	通年	講時	金曜日4限	単位数	4
授業テーマ	「性」に関する「常識」や「思い込み」を再検討する。				
目的と概要	「性」は、語りの寡少と過剰の中で、「常識」や「思い込み」というものが充満している。例えば、「性別」には「男性」と「女性」の二つしかない、「セクシュアリティ」には「異性愛」しかないと思っ込んでいる人がほとんどではないだろうか。本講は、こうした性に関する思い込みや常識を問うてきたジェンダー論の歴史的発展・関心の変遷、ジェンダー論で頻繁に用いられる基本的な用語について解説する。また、受講者とともに、この思い込みが自分自身や他者および社会全体に与えるインパクトを検討し、そのような思い込みが生まれる背景・構造を見つめ、これを転換するための方途について考えていく。				
成績評価法	前期の期末レポート40%、授業への貢献(外部講師によるレクチャーへの参加、発言等)10%(以上、岡島)、後期の学期末レポート25%、「講義時のミニ・レポート」25%(以上、李・日合)で評価する。				
テキスト	適宜、コピーする。				
参考書	適宜、紹介する。				
履修に当たっての注意・助言					
講義計画					
<p><前期></p> <p>1回目:自己紹介・本講の目的解説・「性」の定義 2回目:「第2波フェミニズム」…婦人論の時代から女性学の時代へ(その1) 3回目:「第2派フェミニズム」…婦人論の時代から女性学の時代へ(その2) 4回目:女性学からジェンダー研究へ(その1) 5回目:女性学からジェンダー研究へ(その2) 6回目:外部講師(その1) 7回目:外部講師(その2) 8回目:ジェンダー研究の諸特徴のまとめ 9回目:男女共同参画社会とはなにか 10回目:学生の関心に従ってジェンダー研究の諸分野を紹介(その1) 11回目:学生の関心に従ってジェンダー研究の諸分野を紹介(その2) 12回目:学生の関心に従ってジェンダー研究の諸分野を紹介(その3) 13回目:学生の関心に従ってジェンダー研究の諸分野を紹介(その4) 14回目:学生の関心に従ってジェンダー研究の諸分野を紹介(その5) 15回目:前期まとめ (以上、岡島担当)</p> <p><後期></p> <p>1回目:私と女性問題(アプローチと問題意識)…個人の問題から社会の問題へ、性差別を見抜く力をつける。 2回目:「慰安婦」問題って何?…日本軍「慰安婦」問題のビデオ視聴と解説 3回目:「慰安婦」問題と私たち(その1)…「慰安婦」問題の成り立ちと実態 4回目:「慰安婦」問題と私たち(その2)…戦争責任、性の二重規範、民族差別など「慰安婦」問題の本質 5回目:今、アジアの女性たちは…アジアの女性に対する暴力の実態をビデオなどで紹介、解説 6回目:女性に対する暴力は人権侵害…性暴力根絶に向けた日本国内外の取り組み、女性たちの活動 7回目:私の生き方を見つめる、考える…グループ討議(前回のミニ・レポートを参考資料とする) (以上、李担当)</p> <p>8回目:ジェンダー研究におけるセクシュアリティの問題(その1)…なぜセクシュアリティが問題となるのか 9回目:ジェンダー研究におけるセクシュアリティの問題(その2)…セクシュアリティに関するジェンダー問題を知る 10回目:女性問題と性的自由について…ジェンダー問題を性的自由という観点から捉える 11回目:理念と現実社会…理念と現実の社会とのギャップを考える 12回目:恋愛の形式について…現在の恋愛のあり方を問い直す 13回目:なぜ結婚するのか(その1)…結婚とはどのようなものなのかを検討する 14回目:なぜ結婚するのか(その2)…憲法第24条についての議論を紹介する 15回目:まとめ…グループ討論と質疑応答 (以上、日合担当)</p>					